

第一回 城西大学地域連携シンポジウム

「埼玉県が直面する

自然災害の実態と

地方自治体の防災・減災対策」

日時

2021年

11月12日(金)

13:30~16:30

この数年の自然災害の激甚化には驚くべきものがある。自助公助共助のバランスの中で、今後、市町村行政はどのように防災体制を整え災害対応を行うべきなのか。このシンポジウムでは、災害の専門家に地盤・地震災害と水害の実態を紹介いただくとともに、行政の方も交え、意見交換を行い、今後の防災対策、防災政策の方向について議論する。

会場

城西大学 清光会館2階

清光ホール

※サテライト会場は、
学内教室等となります。

※オンライン受講可能

定員

会場：120名 (先着順)

※会場参加が定員を達した際は、学内のサテライト会場のご案内となります。

サテライト会場：100名

オンライン：400名

※オンライン参加のお申込みいただいた方には、
開始日前日までにミーティング情報をお知らせします。

(申し込み方法・問い合わせ先は裏面をご確認ください。)

司会進行：高尾 浩一 (城西大学地域連携センター副所長)

《第一部》基調講演

「常に危機意識を持って備える」

講師：橋本 雅道 (埼玉県副知事)

「地震と豪雨による地盤災害の実態」

講師：安田 進 (東京電機大学名誉教授)

「近年の水害の特徴と流域治水へ向けての視点」

講師：田中 規夫 (埼玉大学大学院理工学研究科教授)

《第二部》パネルディスカッション

「防災・減災に向けて市町村行政はどう対応すべきなのか」

コーディネーター：酒井 宏平 (城西大学現代政策学部助教)

パネリスト：橋本 雅道/石川 清/安田 進/

田中 規夫/飯塚 智規/酒井 宏平

(詳しくは裏面をご確認ください。)

主催：城西大学・城西短期大学

後援：埼玉東上地域大学教育プラットフォーム (TJUP)

協力：坂戸市、埼玉新聞事業者・エイチスリーラボ・ファシル

